

笑ってごらん

第 627 号 H. 30. 6. 22 発行

～今日の格言～

世の中で一番美しいことは
すべてのものに愛情を持つことです。

(福澤諭吉『心訓』より)

今回は『ミズゴクン』について紹介したい。

「ふむふむ、確かに水はゴクンと飲むゾ」なんていうヲヤヂギャグのことではない。黒田官兵衛が遺した『水五訓』の教えのことである。

- 一、自ら活動して他を動かしむるは水なり。
- 二、障害にあい激しくその勢力を百倍し得るは水なり。
- 三、常に己の進路を求めて止まざるは水なり。
- 四、自ら潔うして他の汚れを洗い清濁併せ容るるは水なり。
- 五、洋々として大洋を充たし発しては蒸気となり雲となり雨となり雪と変じ霰（あられ）と化し凝しては玲瓏（れいろう）たる鏡となりたえるも其（その）性を失はざるは水なり。

さてその意味は、

- 一、自分自身が自ら動き、模範を示すことで、周囲を牽引しよう。
- 二、物事を進める上で障害や壁があったとしても、努力し続けていくことが自分の力となっていく。
- 三、自分が決めた道は、迷い止まることなく進んで行こう。
- 四、嫌いな人でも嫌悪せず、良いところを見つけ共存していこう。
- 五、温度によって蒸気となったり、雲や雨、雪やあられに変化しても入れ物を変えればカタチも丸や四角に変わるのが水。だけど水の性質は失われない。

私たちは与えられた環境の中で、柔軟に変化し成長していくことが大切である。

この『水五訓』に触れ、ただ流されるのではなく「柔軟に、時に強く」ありたいと感じた。



女子テニス部、九州チャンピオンに輝く！

先般行われた九州高校総体テニス競技において、本校女子テニス部が優勝した。

先に行われた鹿児島県大会において優勝を逃してしまったため、今回の優勝は前回の雪辱を果たした形になる。

残念ながら、九州で優勝しても全国には進めないことが口惜しい。

男子部も団体3位を勝ち得た。奇しくも3位決定戦の相手は県大会決勝でも対戦した鹿児島実業高校だった。

九州にはいくつもの強豪校があり、トップに立つことは至難の業である。厳しい戦いを制した選手諸君に敬意を表する。



ワールドカップサッカーが熱い！

四年に一度行われるワールドカップサッカー。連日ロシアで熱い戦いが繰り広げられている。

サムライブルー日本チームにおいては大会直前に監督交代劇があり、チームとしてのまとまり面において少々心配する声が上がっていた。

十九日、世界ランキング十六位のコロンビアと対戦した六十一位の日本。一見不利に思えたが、勝利の女神は日本チームに微笑んだ。

サッカーファンは大迫選手の決勝点にさぞかし狂喜乱舞したことだろう。幸先の良い結果に、次のセネガル戦が楽しみになってきた。